

音読の響くまち ～音読・朗読発表会～

12月5日(土)流山市生涯学習センター多目的ホールで、流山市子どもの読書推進の会と音読・朗読発表会実行委員会主催の「第4回音読・朗読発表会」が開かれました。流山市内の各小学校から20のグループと4人の個人参加の計24組、213名が参加しました。詩や物語などから大好きな作品を選び、衣装や動作にも工夫しながら、約300名入る大きなホールの隅々まで届く声で音読を披露しました。参加者が多いため1部と2部の間で観客の入れ替えがあるほどの盛況でした。ゲストの平山さん(季節語りの会)の昔話語りと八木中学校の木田君(NHK全国中学生放送コンテスト朗読部門最優秀賞)の「きよしこ」の朗読の披露もあり、音読の響くまち流山にふさわしい心豊かな会でした。



錦ヶ崎小3年ホタルの会の皆さん

星野宮弘 花の詩画展 多くの人に感動を残して ～支えた千人のボランティア活動～

11月23日から流山市生涯学習センターで開催された「星野宮弘花の詩画展」が12月23日、盛況のうちに幕を閉じました。鑑賞された方は1万人を越え、多くの人の心に感動を残しました。小中学生は無料で招待され多くの子どもたちも訪れました。クラス



作品に見入る中学生

シリーズ 小さな森のある学校 東部中学校

東部中学校は、正門からまっすぐ伸びた坂を登り切った名都借の丘の上にあります。体育館脇には学校便りの題にもある学校のシンボルの椎の大木が、がっしりと枝を広げてそびえています。昔この地にあった雷神社の木をそのまま残したものです。創立30周年を機に板元の周囲が整備され、その後地元の方によって「椎を見上げて」の石碑も建立されました。この椎の木は地元の人にとって大切な存在です。



登下校の坂道(通称コマン坂)

丘は東部中オリジナル曲「大桜のように」に歌われる数十本の桜の樹に縁取られ、校庭側の斜面には見事なドウダンツツジが列をなしています。丘の上の学校の春は、桜に彩られ、お花見の場所として地域の方々の憩いの場所になっています。

教育トピックス

早春の銚子半島を駆け抜ける ～銚子駅伝大会～

平成22年1月10日、第61回青木平治杯中学校対抗銚子半島一周駅伝大会が開催され近県からの参加も含め70校を超える中学校が8区間22.9kmの銚子半島を駆け抜けました。流山からは7校が参加し、各校健闘しました。中でも8区を走った東部中の桜井拓人君は区間1位の成績でした。主な結果は下記の通りです。

6位 西初石中学校
13位 東部中学校



シンボルロード旧渡船場前をスタート

わかった! 飛行機が飛ぶ理由

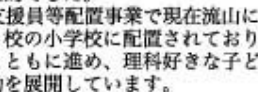
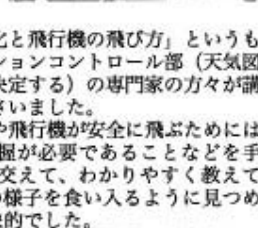
理科支援員等配置事業による特別授業行われる

1月28日(木)、理科授業の充実や教員の資質向上を目的とした、特別講師による授業が、新川小学校の5年生を対象に行われました。(主催(独)科学技術振興機構(JST))

授業は「あんしんフライト 天気の変化と飛行機の飛び方」というもので、全日空ステーションコントロール部(天気図を読んで飛行航路を決定する)の専門家の方々が講師となり指導して下さいました。

飛行機が飛ぶ原理や飛行機が安全に飛ぶためには気象情報の正確な把握が必要であることなどを手作りの教材や映像を交えて、わかりやすく教えていただきました。実験の様子を食い入るように見つめる子どもたちの姿が印象的でした。

この他にJSTの理科支援員等配置事業で現在流山には6名の理科支援員が8校の小学校に配置されており、理科授業の充実を教員とともに進め、理科好きな子どものすそ野を広げる活動を展開しています。



南流山小学校 県5位 ～伝統の自転車部～

南流山小学校自転車部が、7月に行われた交通安全こども自転車大会で団体5位の成績を取めました。20年以上の伝統のある部で、現在は4年生から6年生の26名の部員で毎朝の練習を頑張っています。登校時に多くの児童が練習の様子を見るので、交通安全への意識は高いそうです。



歴史の重みのある椎の木

教育広報

真 まごころ 心

原 字 鈴木 昭夫

第47号
編集発行 流山市教育委員会
TEL 04(7158)1111

結集でよき実践を

すばらしい結果力があります。教職員の輝きが見事であった学園、校長を始めとするリーダーの方向性や学びの存在、またそれ以上に地域の方々の大きな応援による「協働」、そのことが今結実し、明日への成果に繋がったと思っております。

振り返って、今日の社会はどの職場においても個性化が進んでいると思います。かわりかかわりが欠如した社会です。人と人の「かわり」を重視した社会こそ「豊かな社会」づくりに繋がります。そのことが、子らの輝く学園づくりの大きな風になると信じております。



教育長 鈴木 昭夫

いのち 星野 宮弘
いのちが一番だと
思っていたころ
生きるのが苦しかった
いのちより大切なものが
あると知った日
生きているのが
嬉しかった

子ども達や先生たちから作ります

快走! 4人抜き



町澤大雅君 南流山中学校3年

1月24日、広島で都道府県対抗男子駅伝競走大会が開催されました。県代表で6区3kmに出場した町澤大雅君は、8分31秒の区間新記録で快走し、千葉県との競合6位に貢献しました。また、中学生で唯一の優秀選手に選ばれました。3年生になってからめきめき力を付けてきた町澤君の夢は、箱根駅伝5区山の山登りコースの選手になることだそうです。

都道府県対抗駅伝
区間新記録 優秀選手賞
優秀選手賞のトロフィー

子どもたちの 未来のために

自然環境を大切にする教育

流山市は、「都心から一番近い森の街」ということで住む人が年々増えてきています。市内23の小中学校にも、本広報誌の「小さな森のある学校」でも順次紹介しているような、緑あふれる環境があります。

一昨年、総数50本の桂の木が各校に植樹されました。これは、子どもたちに緑あふれる環境を大切にする気持ちを持ってもらうとともに、学校を緑あふれる場所にするために行われました。何年後には美しい木陰を作り出してくれることでしょう。



自然がいっぱいのピオトープ



植樹された 桂の木

環境教育では、現在市内全小中学校にピオトープが作られています。そこにはトンボが飛んできたり、小魚が泳ぐ、自然の営みが見られます。子ども達にとっては絶好の自然と触れ合える身近な場所です。このように流山市では、未来に自然を残すために、環境を大切にする教育を行っています。



創立30周年記念事業で作成中の大きなピオトープ

西深井小学校

ひと声かけよう! 「おはよう、ありがとう、すみません」のとびかう ながれやま